

# 令和3年度事業報告

## はじめに

我が国は少子高齢化による人口が減少する中、超高齢化社会に突き進んで65歳以上の高齢者の総人口に占める割合は既に28%を超えており、高齢化が急速に進んでいるのが現状の姿であります。

人口が減少する中で社会活動の活力を維持しようとするためには、働く意欲のある高齢者が数多く存在し、その高齢者の人たちが働き続けられる場所が必要となります。人生百年時代に突入し、元気でしかも健康で働く意欲のある高齢者が生涯現役を実現でき、また就業機会の確保や提供を行うことができる私たちシルバー人材センターの役割が近年ますます重要になってきています。

しかしながら、シルバー人材センターは高齢者の就業機会の確保のための基盤として一定の機能を果たしていますが、大災害に匹敵するといってもよい新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種は進んではいるものの未だに終息が見えない状況にあり、また65歳までの定年延長や70歳までの就業機会確保が企業の努力義務となった法制度導入や高齢者の就業ニーズの多様化等により60歳代の入会者が減少し、会員の年齢層の上昇や新規会員の減少などの課題が散見しています。さらに2月のロシアによるウクライナへの侵攻による世界経済の不安定な厳しい状況が続いているのも事実です。

こうした中、当センターは500人以上の会員数は維持していますが、契約金額はコロナ前の令和元年度と比較してこの2年間、2億7千万円前後の約7%減額で推移しています。緊急事態宣言等発出のコロナ禍の影響で雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、当センター事業にも影響が出ています。そのうえ令和5年10月からシルバー人材センターの存続すら脅かすインボイス制度の導入が予定されており、今後如何にして事業を継続していくか検討が迫られています。

国の通達では、人手不足分野等での就業機会の開拓・マッチング機能や地域ごとの特色や実情を踏まえた積極的な取組を強化するとしています。当センターでは、シルバー人材センターの所期の目的である高齢者の生きがいや活力ある地域社会づくりを目指すため、令和3年度からの5ヵ年計画である「第2次中期計画」を取りまとめ、その計画に基づいて、高齢者に「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な就業」を提供する組織として、多様な形態で高齢者の就業機会を確保し、安全・安心な事業を実施することによって、福祉向上と地域活性化に貢献できるように精進してきました。新規独自事業も検討・計画し、次年度から開始予定です。介護予防・日常生活支援の事業（通称 シルバーえぷろん）における生活支援サービスや事業規模は少ないですが空き家等の適切な管理も進め、確実に事業拡大ができています。また、安定的な財政運営のためにさらなる経費の削減を図ることに努力してまいりました。以下、令和3年度に実施した主な内容は次のとおりです。

## 事業推進実績状況

### 1. 就業に関する情報の収集及び提供

センターに活力を与え発展する源として会員の増加と就業の場の拡大が必要不可欠であるため次の事業を実施しました。

(1) 兵庫県、稲美町、播磨町、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会その他関係団体等を通じて情報を収集し、これを会員に提供して事業を推進しました。

① 全国シルバー人材センター事業協会主催

- 1) 定時総会に参加（書面決議）6/24
- 2) 会員拡大・就業開拓担当者会議に参加（オンライン 8/23～8/31）
- 3) 適正就業担当者会議に参加（オンライン 10/18～10/25）
- 4) 福祉・家事援助サービス担当者会議に参加（オンライン 12/20～12/28）
- 5) 安全就業指導員会議に参加（オンライン 1/31～2/10）
- 6) デジタル活用支援推進事業受託推進会議に参加（オンライン 2/14～3/18）

② 近畿シルバー人材センター連絡協議会主催

- 1) 定期総会に参加（書面決議）6/25

③ 兵庫県シルバー人材センター協会主催

- 1) 定時総会に参加（書面決議） 6/19
- 2) 国庫補助金申請・実績報告事務にかかる説明会に参加（オンライン 4/16）
- 3) 国庫補助金実務にかかる留意点等説明会に参加（オンライン 8/18）
- 4) シルバー派遣事業実務担当者研修会に参加（オンライン 8/27）
- 5) 事務局長会議に参加（オンライン 6/1・6/28・10/12・1/21）
- 6) 新任役員・事務局長研修会に参加（オンライン 8/20）
- 7) 会員拡大セミナーに参加 10/26
- 8) 役員研修会に参加（オンライン 12/2）
- 9) シルバー派遣事業に係るキャリアコンサルティング研修に参加（オンライン 12/6）
- 10) 会計・経理実務担当職員研修会に参加（オンライン 1/24）
- 11) 安全衛生・適正就業推進委員会に参加（オンライン 8/5・9/21・3/3）

④ 兵シ協東播ブロック会議に参加 9/30（加古郡広域にて）

⑤ 隣接シルバー人材センター広域連絡理事長会議はコロナ禍のため、今年度は開催されませんでした。

（構成 神戸市・西宮市・芦屋市・明石市・加古川市・加古郡広域の6センター）

⑥ 兵庫県主催

- 1) 簿記研修会に参加 7/8
- 2) 兵庫県関係団体運営研修会に参加 9/7
- 3) 簿記ステップアップ研修会に参加 11/24
- 4) 農薬管理指導士認定特別研修に参加 12/1～12/2

⑦ 全国シルバー人材センター事業協会「会報誌」月刊「シルバー人材センター」及び、他市町シルバー人材センターの「会報誌」等による情報の収集

(2) 一般家庭、民間事業所、公共団体等からの就業に関する情報の収集を行いました。（随時）

- (3) 特色ある記事の掲載や、多く会員からの寄稿を取り入れるなど内容を充実した会報誌「シルバーだより」第70号を10月下旬に、第71号を2月下旬に年2回発行しました。

(稲美町支部 10,900部・播磨町支部 12,700部)

- (4) 事務局通信を随時発行しました。

## 2. 就業相談等の実施

地域における働く意欲のある高齢者に適正な就業や能力向上のための事業を実施しました。

- (1) 毎月1回の入会説明会等を通じて入会の促進と適正就業相談を実施
- ① 稲美町支部・播磨町支部がそれぞれ別会場で、同日2か所で実施
- (2) 未就業会員に対するミスマッチ等解消のため意向調査等の実施（随時）
- (3) 就業相談の実施（随時）

## 3. 就業機会の開拓及び提供

センターの趣旨及び事業の目的や内容などの周知を図り行政機関や民間事業所各方面に理解を得ながら仕事の開拓に努めました。

- (1) 一般家庭・民間事業所・公共団体等への開拓及びPR活動等を実施
- (2) 役員・会員一人ひとりが就業開拓員として、就業の拡大及び新規就業提案の推進
- (3) 掲示板等を活用して、就業情報の提供（随時）
- (4) 常にワークシェアリング・ローテーションに取り組み、基本理念とする「共働、共助」の具現化に努め「公平な就業機会」を確保
- (5) 退会会員の減少を図るため高齢会員等の就業のあり方や新たな会員制度などの調査・検討
- (6) 介護予防・日常生活支援等の事業（通称：シルバーえぷろん）の就業機会の拡大（播磨町支部）
- (7) 行政と相互に連携・協力し、空き家等の適切な管理を進めることにより、良好な生活環境の保全及び安全で安心な「まちづくり」の推進に寄与（播磨町支部）
- (8) センターの認知度を高め理解を得るために、独自事業に取り組み就業機会を拡大
- ① 粕漬加工
- ② もち加工
- ③ 麦飴・かりんとうの製造
- ④ 襖・障子・網戸張替
- ⑤ 墓地（墓石）の掃除
- ⑥ 筆耕
- ⑦ シルバーで応援し隊の実施
- ⑧ 就学前の幼児一時預かり（認可外保育施設「託児所幼児安心ルーム」） 4/1
- ⑨ 竹細工教室の開催 毎月第1・3水曜日
- ⑩ パソコン教室の開催 毎月第2・4火曜日

⑪ うどんづくり教室の開催 毎月第1・3月曜日

⑫ 絵画教室の開催 毎月第1金曜日

(各教室は、5月・6月・9月・2月・3月は緊急事態宣言発出等のコロナ禍のため自粛)

(9) ふるさと納税返礼品・墓参代行サービス・空き家見守りサービスの提供（稲美町支部）

#### 4. シルバー派遣事業の実施

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業の実施事業所として公共団体等各方面に本事業の趣旨等を説明し、理解を求め就業機会の拡大を行いました。

#### 5. 有料職業紹介事業

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として適切・確実な有料職業紹介に取り組んでいますが、今年度の実績はありません。

#### 6. 技能研修及び講習会の実施

親切・丁寧な仕事は、センターの事業推進にはなによりも大切なことで会員のマナーや技能の向上が必要であり、引き続き講習会等の開催に努め充実を図りました。

(1) 就業先でのマナーによるトラブルの未然防止を図るため、接遇講習会の開催

7/29・7/30・9/21・9/27・10/26・10/27・11/15・12/14・2/9・3/25

(2) 会員の技能の向上及び就業意欲の高揚を図るため、技能研修会等の開催

① 草刈機等の安全使用講習会 4/20

(3) 介護予防・日常生活支援サポーター養成研修に参加し、高齢者の介護予防や生活支援に関わる基礎知識を向上 11/5

(4) 安全就業への意識高揚を図るため、各種研修会・講習会等の開催

① 剪定班職群別会議 7/5・7/14

② 草刈班職群別会議 7/4・7/14

③ 除草班職群別会議 7/13・3/28

④ 加工食品講習会（JA主催）11/19

(5) 就業時に発注者から苦情等があった場合は、即、実情を調査するとともに、納得できる適切な対応をより速やかに実施（随時）

#### 7. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会の充実と会員の安全・適正就業の推進に努めました。

(1) 国の全国安全週間に合わせ、7月をシルバー人材センター「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・安心な事業の展開及び安全・適正就業推進委員会の開催

- (2) 会員の就業中、就業途上における事故等の発生防止に取組み、「安全は全てに優先する」との認識を徹底し、「事故ゼロ運動」の推進及び熱中症対策の周知徹底
- (3) 事故の再発防止のため、事故発生状況の分析と対策及び会員への注意喚起
- (4) 会員の就業環境や就業状況を確認するため、安全・適正就業推進委員会委員による「安全パトロール」の実施
  - ① 稲美町支部委員 7/26(稲美町支部を巡視)・8/4(播磨町支部を巡視)
  - ② 播磨町支部委員 7/21(稲美町支部を巡視)・7/26(播磨町支部を巡視)
- (5) 安全就業の一層の推進を図るため、作業責任者による現場での内容確認の徹底と会員への周知を図り、危険と判断する就業は引き受けないなど安全な作業の実施
- (6) 交通安全意識を徹底するため、警察署の協力を得て交通安全講習会を実施 10/25
- (7) 会員の命を守る一環として、消防署の協力を得て「救命講習会」・「AED」(自動体外式除細動器)の取扱い講習会を実施 2/17
- (8) 就業中に交通事故を起こさない取組みとして、センターの自動車運転に係る会員の自動車運転適性検査の受講 2/14・2/18
- (9) 安全就業推進の運動として、「安全標語」の募集 6/1～6/30  
最優秀作品1点 優秀作品3点を選定し、その活用をした。
- (10) 適正就業ガイドラインの周知徹底
- (11) 新型コロナウイルス等の感染症の予防対策、ワクチン接種の奨励及び感染拡大防止対策の周知徹底
- (12) 気軽に健康相談等が出来る看護師による相談業務の実施  
健康相談(毎月第2木曜日)  
(5月・6月・9月・2月・3月は緊急事態宣言発出等のコロナ禍のため中止)
- (13) 会員に健康管理に関する情報の提供と“自分の命は自分で守る”をモットーに、年1回以上の健康診断の受診を促し、自己の健康管理の高揚を奨励

## 8. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの仕組みや事業内容について未だによく理解が得られていない面があることから、各家庭や各種団体等に広く周知を図る事業を展開しました。

- (1) 会報誌「シルバーだより」を年2回発行し、稲美町・播磨町内の全戸に配布し情報の発信を行い、また理事が中心となつての会員の確保や就業の拡大
- (2) シルバー人材センターのPR活動
  - ① トライやる・ウィーク受け入れ  
稲美町支部 11/8から3日間 播磨町支部 11/8から5日間
  - ② 教室等の独自事業の実施  
(各教室は5月・6月・9月・2月・3月 緊急事態宣言発出等のコロナ禍のため自粛)

- ③ 夏休み子供勉強教室（コロナ禍のため中止）
  - ④ 年末の一斉清掃作業であるクリーンキャンペーンの実施 12/28
  - ⑤ 近隣シルバー人材センター等へ正月用もちの販売 12/27
  - ⑥ 全国シルバー人材センター事業協会「会報誌」月刊「シルバー人材センター」を公共施設に配布
- (3) 新たな就業の開拓や会員の募集を図り、常にホームページの充実を図り最新情報の提供
- ① 口コミによる会員募集を随時実施
  - ② 入会説明会等の情報を町発行の広報誌に毎月掲載（播磨町）
  - ③ ハウスクリーニング講習会 6/23 から 3 日間実施
  - ④ 入会説明会の実施（毎月第 4 水曜日）  
稲美町支部・播磨町支部がそれぞれ別会場で、同日 2 か所で実施
  - ⑤ ホームページリニューアルの検討
- (4) 社会貢献と啓発活動の一環として、幼稚園・保育園・子育て支援センターなどで、除草・剪定・清掃等のボランティア活動を実施  
4/14・7/14・10/13・11/10・12/8・1/12  
(5月・6月・9月・2月・3月は緊急事態宣言発出等のコロナ禍のため中止)
- (5) 新たな家事支援事業などの取り組みにあたっては、女性会員の拡大は不可欠であり、情報提供のため、女性会員による集会等の開催を検討
- (6) 会員が有する様々な趣味や特技・能力などの再調査を行い、これらを生かした事業を検討

## 9. 組織体制の強化

センターの運営が厳しい状況となりつつあることから引き続き事務事業の見直しを図り、会員・役員・職員が一体となって組織の充実発展に取り組みました。また、税理士による諸帳簿類の確認及び指導を受け、適正化を図っています。役職員対象に令和 5 年 10 月施行予定のインボイス制度についての研修会を実施しました。 7/5 講師：藤岡税理士

## 10. その他の事業

多様な形態での高齢者の就業機会を確保するため安全・安心な事業を推進し、会員の資質向上及び地域の方々に親しまれるセンターを目指し事業展開しました。

- (1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、日帰りバス旅行（コロナ禍のため中止）
- (2) イベント等はコロナ禍のため開催はありませんでした。

独自事業の加工食品の即売のほかセンターの PR や会員の確保

- (3) 情報開示について、税理士による諸帳簿類の確認及び指導を受け、より適正化を図るとともに個人情報厳格化を徹底
  - ① 税務相談（毎月 1 回） 藤岡税理士

- ② 播磨町情報セキュリティ研修会に参加 11/19
- ③ セキュリティ対策強化の検討
- (4) センターの維持管理及び事業運営の執行に関して必要な定時総会・理事会の開催
  - ① 定時総会 5/24 (規模を縮小して実施 委任状による議決権の奨励)
  - ② 理事会 5/7・5/24・7/5・12/6・3/23  
(理事会の活性化を図り、理事による主体的な活動の実施)
- (5) 専門委員会の開催
  - ① 安全・適正就業推進委員会 7/2
  - ② 広報委員会の開催 8/19・9/16・12/16・1/20
  - ③ 総務委員会の開催 8/30・12/15・3/7
  - ④ 支部理事会の開催 9/6
- (6) 仕事の満足度について、発注者の意思・感想の把握など常に意識した取り組みを実施
- (7) センターの健全な運営・適正就業のため、各種会議等の実施
  - ① 監査の実施
    - 令和2年度 計算書類等確認 4/27 決算監査 4/30
    - 令和3年度 中間監査 11/26 決算監査 5/6 の予定
  - ② 会員の月初め朝礼 8/2・11/1 その他の月はコロナ禍のため中止
  - ③ 安全運転管理者総会に参加 (オンライン 7/12)
  - ④ 安全運転管理者講習会に参加 10/19
  - ⑤ 派遣元責任者講習会 3/8

令和3年度安全推進標語

最優秀作品

気のゆるみ 慣れた作業に 事故が待つ！

優秀作品 3点

一寸した 気のゆるみが 事故のもと

焦らず 無理せず 危険を予知してゼロ災害

おはようの 明るい笑顔で 事故はゼロ

## 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金	72,710	99,843	△ 27,133
普通)JA兵庫南 天満支店	2,782,235	4,574,372	△ 1,792,137
普通)JA兵庫南 播磨支店1	22,563,589	22,351,608	211,981
普通)JA兵庫南 播磨支店2	649,769	267,416	382,353
普通)JA兵庫南 天満支店2	4,183,579	6,517,003	△ 2,333,424
普通)但陽信金 本荘支店	2	2	0
(現金預金計)	(30,251,884)	(33,810,244)	(△3,558,360)
未収金	18,453,628	19,517,774	△ 1,064,146
立替金	0	2,900	△ 2,900
前払金	124,720	145,820	△ 21,100
<b>流動資産合計</b>	<b>48,830,232</b>	<b>53,476,738</b>	<b>△ 4,646,506</b>
2.固定資産			
(1)基本財産			
基本財産計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産計	0	0	0
(3)その他の固定資産			
車輛運搬具	13	14	△ 1
什器備品	4,444	8,886	△ 4,442
電話加入権	222,768	222,768	0
預託金	16,210	16,210	0
リース資産	3,154,076	4,731,113	△ 1,577,037
<b>固定資産合計</b>	<b>3,397,511</b>	<b>4,978,991</b>	<b>△ 1,581,480</b>
<b>資産合計</b>	<b>52,227,743</b>	<b>58,455,729</b>	<b>△ 6,227,986</b>
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金	17,105,123	17,653,435	△ 548,312
預り金	139,469	68,232	71,237
前受金	7,200	9,600	△ 2,400
仮受金	0	0	0
賞与引当金	2,636,372	2,940,340	△ 303,968
一年以内返済予定リース債務	1,577,038	1,577,037	1
<b>流動負債合計</b>	<b>21,465,202</b>	<b>22,248,644</b>	<b>△ 783,442</b>
2.固定負債			
リース債務	1,708,458	3,285,496	△ 1,577,038
<b>固定負債合計</b>	<b>1,708,458</b>	<b>3,285,496</b>	<b>△ 1,577,038</b>
<b>負債合計</b>	<b>23,173,660</b>	<b>25,534,140</b>	<b>△ 2,360,480</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1.一般正味財産			
一般正味財産合計	29,054,083	32,921,589	△ 3,867,506
<b>正味財産合計</b>	<b>29,054,083</b>	<b>32,921,589</b>	<b>△ 3,867,506</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>52,227,743</b>	<b>58,455,729</b>	<b>△ 6,227,986</b>

令和3年度 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	246,761,535	249,579,388	△ 2,817,853
受取配分金	196,975,170	198,328,283	△ 1,353,113
受取材料費等	15,707,978	17,428,239	△ 1,720,261
受取事務費	34,078,387	33,822,866	255,521
受取会費	1,188,400	1,203,800	△ 15,400
正会員受取会費	1,188,400	1,203,800	△ 15,400
受取補助金等	31,600,000	30,400,000	1,200,000
受取連合交付金	15,800,000	15,200,000	600,000
受取播磨町補助金	7,900,000	7,600,000	300,000
受取稲美町補助金	7,900,000	7,600,000	300,000
労働者派遣事業等受託収益	1,815,000	1,832,600	△ 17,600
指定管理受託事業収益	21,289,992	21,793,839	△ 503,847
雑収益	3,195,303	2,890,827	304,476
受取利息	393	385	8
雑収益	3,194,910	2,890,442	304,468
経常収益計	305,850,230	307,700,454	△ 1,850,224
(2) 経常費用			
事業費	300,394,879	293,415,055	6,979,824
支払配分金	196,975,170	198,328,283	△ 1,353,113
支払材料費等	14,480,243	14,852,729	△ 372,486
給料手当	39,725,865	35,827,505	3,898,360
臨時雇賃金	679,836	812,653	△ 132,817
法定福利費	6,121,473	5,899,260	222,213
退職金掛金	3,807,776	3,241,110	566,666
福利厚生費	148,719	154,202	△ 5,483
旅費交通費	36,720	38,260	△ 1,540
通信運搬費	1,459,325	914,366	544,959
減価償却費	4,442	4,442	0
会議費	0	0	0
什器備品費	898,766	330,400	568,366
消耗品費	1,262,891	916,005	346,886
修繕費	3,742,940	3,359,478	383,462
印刷製本費	815,859	892,151	△ 76,292
光熱水料費	7,294,450	8,440,546	△ 1,146,096
賃借料	3,786,157	3,465,471	320,686
保険料	2,892,360	3,787,760	△ 895,400
諸謝金	0	0	0
租税公課	4,178,704	2,515,256	1,663,448
支払負担金	0	0	0
委託費	7,730,879	5,225,160	2,505,719
町納付金	0	0	0
支払手数料	31,061	31,268	△ 207
貸倒損失	0	0	0
支払利息	88,323	88,321	2
リース資産減価償却費	1,577,037	1,577,037	0
賞与引当繰入	2,293,834	2,352,272	△ 58,438
雑費	362,049	361,120	929

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
管理費	9,322,856	9,163,944	158,912
役員報酬	1,253,000	1,122,000	131,000
給料手当	3,438,532	3,161,796	276,736
臨時雇賃金	75,538	90,292	△ 14,754
法定福利費	1,445,879	1,380,791	65,088
退職金掛金	882,554	747,300	135,254
福利厚生費	32,389	33,760	△ 1,371
会議費	0	385,990	△ 385,990
役員等旅費交通費	18,000	6,000	12,000
旅費交通費	1,660	4,980	△ 3,320
通信運搬費	190,585	189,214	1,371
什器備品費	66,000	0	66,000
消耗品費	168,930	115,842	53,088
修繕費	35,456	118,720	△ 83,264
印刷製本費	6,630	13,860	△ 7,230
光熱水料費	103,606	100,867	2,739
賃借料	134,785	78,794	55,991
保険料	26,100	26,100	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	300,596	207,094	93,502
支払負担金	248,000	248,000	0
委託費	264,200	229,800	34,400
支払手数料	2,699	4,074	△ 1,375
賞与引当繰入	342,538	588,068	△ 245,530
雑費	285,179	310,602	△ 25,423
経常費用計	309,717,735	302,578,999	7,138,736
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,867,505	5,121,455	△ 8,988,960
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,867,505	5,121,455	△ 8,988,960
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	139,998	△ 139,998
経常外収益計	0	139,998	△ 139,998
(2) 経常外費用			
固定資産売却(除却)損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	139,998	△ 139,999
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,867,506	5,261,453	△ 9,128,959
一般正味財産期首残高	32,921,589	27,660,136	5,261,453
一般正味財産期末残高	29,054,083	32,921,589	△ 3,867,506
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0
Ⅲ 正味財産 期末残高	29,054,083	32,921,589	△ 3,867,506

# 財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	金額	場所 / 物量等	備考
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金(稲美町支部)	26,530	稲美町支部	運転資金(手元保管)
現金(播磨町支部)	46,180	播磨町支部	運転資金(手元保管)
普通)JA兵庫南 天満支店	2,782,235	JA天満支店	運転資金
普通)JA兵庫南 播磨支店1	22,563,589	JA播磨支店	運転資金
普通)JA兵庫南 播磨支店2	649,769	JA播磨支店	運転資金(指定管理用)
普通)JA兵庫南 天満支店2	4,183,579	JA天満支店	運転資金(指定管理用)
普通)但陽信金 本荘支店	2	但陽本荘支店	商品券換金口座
(現金預金計)	(30,251,884)		
未収金(稲美町支部)	8,724,005	稲美町役場等 73件	未回収事業収入
未収金(播磨町支部)	9,729,623	播磨町役場等142件	未回収事業収入
立替金	0		
前払金	124,720		特定退職金共済掛金等
<b>流動資産合計</b>	<b>48,830,232</b>		
2.固定資産			
(1)基本財産			
基本)定期預金	0		
(2)特定資産			
減価償却引当資産	0		
(3)その他の固定資産			
車輛運搬具	10	稲美町支部 10台	公益目的事業に使用
車輛運搬具	3	播磨町支部 3台	公益目的事業に使用
什器備品	4	稲美町支部 4点	公益目的事業に使用
什器備品	4,440	播磨町支部 2点	公益目的事業に使用
電話加入権	222,768	稲美2回線 播磨1回線	
預託金	16,210	稲美1台 播磨1台	自動車リサイクル料
リース資産	1,497,269	稲美町支部	シルバーシステム
リース資産	1,656,807	播磨町支部	シルバーシステム
<b>固定資産合計</b>	<b>3,397,511</b>		
<b>資産合計</b>	<b>52,227,743</b>		
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金(稲美町支部)	8,214,717	未払配分金等	
未払金(播磨町支部)	8,890,406	未払配分金等	
預り金	139,469	役職員所得税 社会保険料等	
前受金	7,200	次年度会費前納分	
仮受金	0		
賞与引当金	2,636,372	次年度職員賞与引当金	
一年以内返済予定リース債務	1,577,038	次年度返済予定分	シルバーシステム
<b>流動負債合計</b>	<b>21,465,202</b>		
2.固定負債			
リース債務	1,708,458		シルバーシステム
<b>固定負債合計</b>	<b>1,708,458</b>		
<b>負債合計</b>	<b>23,173,660</b>		
<b>III 正味財産の部</b>			
1.一般正味財産			
一般正味財産合計	29,054,083		
<b>正味財産合計</b>	<b>29,054,083</b>		

# 役員名簿

令和4年3月31日現在

理 事 長	藤原 睦
副 理 事 長	柘田 正伸
理 事	田中 勲
理 事	木暮 徹
理 事	福田 美佐子
理 事	森田 正幸
理 事	大西 由夫
理 事	澤 幸子
理 事	田端 寿弘
理 事	梶原 好郎
理 事	長谷川 康子
理 事	武田 靖弘
理 事	今田 敏子
常 務 理 事	津村 道彦
監 事	吉田 邦子
監 事	宇佐美 隆史